

正福寺報

平成25年お盆号

臨濟宗 円覚寺派
住職 松原 行樹
TEL 045-811-3800
FAX 045-811-6304
shouhukuji@nifty.com

〒245-0053 横浜市戸塚区上矢部町340

<http://shouhukuji.com/>

供養

正福寺住職 松原行樹 ぎょうじゆ

「くよう」と読みます。

「供」という字は、お供えをするということです。お線香、お花、ロウソク、お茶、お菓子、果物、お膳など、ご家庭でもご仏壇にお供えしていらっしゃると思います。

お供えをするのは亡くなった方に対しての行為です。生きている方に申しあげたら大変ですね。

ではなぜ、「養」の字、つまり「養う」という字が後に続くのでしょうか。色々と調べましたが、どこにも見当たりません。私見ですが、お供えをすることによって、自分の体なり心なりが「養われる」ということではないでしょうか。

ということは、「供養」とは、亡く

なった方だけではなくて、ご自身のためでもあると解釈できます。

このようにして、ものを対立的に、二つに分けて見ないことが大切です。

どこかの小学生の言葉にあります。だが、現在の私はご先祖の血がみんな集まった結晶です。それに姿形は見えないけれども、亡き人の教えは永遠に消えて無くなることはありません。

幼い頃、亡き祖父と葬儀に行った際、「亡くなった人も、生きている僕たちと共に生きているんだよ」と言われたことが、ようやく理解できました。

『仏教聖典』に「弟子らよ わが法の相続者たれ 財の相続者たるなかれ」とあります。法とは教えです。

ご先祖のおかげで今の自分がいます。短いこの命。少しでも早く供養して、お返しをしなければいけませんね。

施餓鬼法要会のご案内

平成二十五年八月二日（金）

午後二時頃～法話

龍源寺住職 松原信樹師

午後三時頃～法要

回向料 五〇〇〇円

塔婆一本 三〇〇〇円

出欠の有無を同封のはがきにて、七月二十日までにご返信ください。

*当日お寺の駐車場はご利用できません。やむを得ず、お車でご来山をご希望の方は七月二十日迄にご連絡ください。

*当日、境内にて墓参用のお花をお買い求めいただけます。ご希望の方は同封のはがきの「買う」欄に〇印を付けてご返信ください。
一対 一四〇〇円

施餓鬼法要会の準備に参加して下さる方を募集しています。

日時 七月二十七日（土）

時間 十時半～十二時頃

（昼食含）

内容 内外掃除等

年齢・性別は問いません。

七月二十六日（金）迄にご連絡ください。

坐禅会のご案内

毎月第一日曜日

午後一時半～午後三時頃

※一月・八月休会 予約不要

坐禅と法話 会費二〇〇円

※本年は七月も休会

※墓参りにて生じたゴミは分別してゴミ箱にお入れ下さい
※住所を変更された方はお寺にご連絡下さい

編集後記

▼梅雨の真つ只中ではありますが、いかがお過ごしでしょうか▼本山の仕事が重く、持ち帰ること数知れず。日々の法務をこなしながら、空いた時間に本山へ。そんな毎日です▼正福寺でひっそりと、のんびり生活したいのですが、どうも無理のようです▼父の遷化から三年、祖父母のそれから四年経ちました。時の流れは早いですね▼無常は止められない。ならば過ぎ去っていく日々を後悔のないように過ごしたいものです▼「いいことばかりじゃない。辛く苦くするんだよ」実家のお檀家から以前言われたこと▼死者に対面し、死者と対話をし、死を通して学ぶ。心の成長をはかりたいものです▼上記の如く、施餓鬼法要会の準備に参加して下さる方を募集しております。何卒ご協力のほど宜しくお願い申し上げます▼施餓鬼法要会は八月二日（金）です。ご家族揃ってお参りください。お待ちしております（行）